

令和3年度 第9回  
我孫子市総合計画審議会  
全体会

令和3年5月29日（土）

我孫子市企画課

## 第9回総合計画審議会

日時：令和3年5月29日（土）

場所：消防本部2階大会議室

### 会 議 次 第

1. 開会
2. 企画財政部長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 議題

(1) 前期基本計画について

① 序論について

② 我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

③ SDGsについて

④ 基本施策について

(2) 今後のスケジュールについて

(3) その他

5. 閉会

(全体会概要)

○藤井会長 それでは、座って進行させていただきます。

今日は議題として大きくは3つございますが、基本的には(1)前期基本計画についてということで丸がついている4つの項目になります。まず丸3つ、①②③については現状どういう方向かということと総合計画といったところ、あるいはどういう位置づけになっているか、自治体の中では色々な計画が動いております。全体の計画が動いている中でどこをターゲットにして、どこの関連のものを結びつけていくのか非常に分かりにくいです。そういった面で今日は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、それから世界的にも計画策定に向けてということで、その開発目標に向かってという「SDGs」、これを我孫子市の中でもどういう方向性で結びつけるかといったところについて、まず全体像を皆様方と共有を図るということで進めていき

ます。

その後、④の基本施策については、進め方を事務局からご説明いただいた後、昨年と同様、第1、第2グループという分科会で、それぞれ具体的なワークショップ形式を取って、ご意見をいただくような場にしたいと思っております。④の基本施策の基本的な進め方の説明後、10分程度、配置替えを含めましてお時間を取らせていただき、最終的に12時までには終わろうという形で進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、早速でございますが、①②③につきまして、事務局よりご説明いただければと思っております。よろしくお願いいたします。

○事務局 それでは、最初に①の序論についてご説明申し上げます。

資料は、お手元の資料1の目次と併せまして、資料2の序論、A4縦のホチキス止めの資料になります。そちらをご覧ください。

序論につきましては、2年前、策定開始当初に案としてご提示した内容から、大きく構成は変更ありませんが、今現在内容を少し刷新している部分もありますので、そちらにつきまして、この場では文章やグラフ等の詳細は割愛させていただき、大きな項目について説明させていただきます。

それでは、資料2に沿って説明させていただきます。

まず、最初のページでは基本構想策定の趣旨、また、その下に総合計画の位置づけ、こちらは次ページまで記載しております。総合計画が基本構想、基本計画、実施計画の3層から成るもの、そして、計画の期間は令和4年度から15年度まで続くという説明をしております。

また、2ページ目の(3)につきまして、後ほど説明させていただきますが、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「SDGs」の視点を入れている旨をここで入れ込んでおります。

3ページ目につきましては、この計画の構成期間、また、ほかの計画とどう絡んでいるのかというイメージ図を載せております。

続きまして、4ページ目になります。

4ページ目では我孫子市の概要ということで、3つの項目に分けて説明しております。

まず、1点目が位置・地勢、2点目が歴史と沿革について、そして5ページ目にいきまして、3点目、都市宣言。我孫子市では2つの宣言を制定しており、また、1つの宣言を表明しております。制定している宣言が平和都市宣言と我孫子市男女共同参画都市宣言、また、6ページ目へ移っていただきまして、表明している宣言がゼロカーボンシティ宣言、これらの提案内容等を6ページに記載しております。

続きまして、7ページ目からは時代の潮流ということで、世の中の社会情勢、今現在どういう流れになっているか、6つのポイントに落とし込んで記載しております。

まず、1点目が少子高齢化と人口減少の進行、2点目が安全・安心に対する意識の高まり、続いて8ページ目に移ります。3点目が地球環境問題、エネルギー問題の深刻化、4点目、情報化社会の進展、5点目、経済のグローバル化、6点目、価値観やライフスタイルの多様化と地域コミュニティの希薄化、以上の6点で社会情勢をまとめております。

続きまして、9ページ目からは我孫子市の現況ということで、3つのポイント、人口と財政と産業というテーマで掲載しております。

9ページ目から11ページ目は人口で、残念ながら人口は今後も減り続けている現状がある中で高齢者人口は増えているといった我孫子市の現況を説明しております。

12ページから15ページにつきましては、財政をテーマに入れております。こちらにつきましては歳入が伸び悩む中、歳出は右肩上がりになっており、その中でもやはり児童福祉費をはじめとする扶助費や繰出金等が増加する、見込まれているというものを落とし込んでおります。そして、3点目の現況としまして、16ページから20ページまでを産業ということで入れております。産業については商業・工業・農業を、さらに3つの区分にして我孫子市の現状を説明しております。

最後の項目として、21ページ目には市民ニーズということで、計画の策定において必要となる市民ニーズを把握する手段として実施した、市民の男女5,000人を対象に行ったアンケート調査です。こちらの調査結果を抜粋して、「重要」または「やや重要」と回答された割合等を記載しております。こちらにつきましてはまだ完成しておりませんが、グラフの数値等、もう少し時間をかけて直近の数値を入れ込んでいきたいと思っておりますので、その都度皆さんにお示しできればと考えております。

内容につきましてもご覧いただいて、もっとこういうものがあつたらいいんじゃないかなど、後日でも構いませんので、ご意見等を頂戴できればと思います。

駆け足になりましたが、序論については以上となります。

○藤井会長 それでは、まず1つ目です。序論についてご説明がございました。これまでの基本構想の策定といったところをさらにおさらいという形の部分と、現状抱えている我孫子市の状況といったところについてまとめていただきました。

こちら、事前配付といった形をとらせていただいておりますが、その中でご質問あるいはご意見等ございましたら、現状の認識の中でもう少しこういったところをプラスしたほうがいい

といったようなことも含めて、ご発言いただければと思いますが、いかがでございましょうか。

○宮川委員 宮川と申します。

資料を事前に配付いただいたので、読ませていただきましたけれども、非常によくまとまった資料だと思うんです。この中身を見てみますと、これ職員の皆さんが手作りされたのか、あるいはほかの資料と、もちろん部分的にはここにまとめたという形もあるんでしょうけれども、創意工夫しながら、この会議用にまとめていただいたものなんでしょうか。その辺の位置づけをちょっとお聞きしたいと思います。

○藤井会長 事務局いかがでございましょうか。

○事務局 この序論につきましては、総合計画の冊子の一番前に来る部分ということで、ご説明した情報を掲載する予定としております。内容につきましては、庁内各課のデータをいただきながら職員の手で、作成したのになります。

以上です。

○藤井会長 よろしいですか。

今お褒めの言葉があったということですね。やはりコンサルタントさんが入ってやるものというのは、ある程度パッケージされたものでスタンダードにいくんですけれども、職員の方がやると、粗削りだけでもといった面もあつたりもしますが、やはり市に向き合ったものが出来上がってくる。あとは市の職員の方の労働時間がどれだけ負担になっているかどうか、その辺が気になる場所でもありますけれども、逆に言うと、これまで市の方が積み上げてこられているので、これから出てくる課題等そういったものがあれば、自分たちの作った中からすぐ答えが聞き出せるということですので、ぜひいろんな点に関しましてもご質問等をしていただければ、もっといい物が出来上がってくると思いますので、よろしく願いいたします。

そのほかいかがでございましょう。全体枠の方向性ということで、よろしゅうございましょうか。

また、アンケートの結果については随時更新をするということで、「やや重要」「重要でない」といった視点の中で、あまり重要じゃないといった中に「SDGs」の中では大事だよ、なんて言ったところも結構浮き出てくる場所もございまして、そういったところはぜひ今後展開していく中で浮き彫りにしていきながら、改めて皆様方と各分野の中でこの部分については、本当に市の政策の計画づくりとして、必要なか必要じゃないのかといったところも含めて、ご検討いただけるといいのではと思っております。

こちらにつきましては、よろしゅうございましょうか。

はい。ありがとうございます。

また何かございましたら、逐次事務局のほうに上げていただければと思います。

それでは、②の「我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてということで、こちらからは私のほうで冒頭にご説明させていただきました。総合計画、基本構想、基本計画、いろんなものをつくり上げていく中に、やはり都市計画でいうとマスタープランといったものがあったりします。あと、事前にとということで国土強靱化計画という、私たちの暮らしをしなやかに守っていくといった側面ではそういった計画もあります。

自治体はいろんな計画を持っているんですが、総合計画という中で人口ビジョンに基づいた枠組みの中で、将来どうしていこうかといった計画。これも一つ動いている。そういった方向性のものを総合計画とどう整合させるかというのは、非常に大事な点になってきている。ただ、それがなかなか分かりにくくなるということですので、今日改めて「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と総合計画の基本計画につなげるところで、どういう点に配慮すべきなのか、あるいはどういう関係性を持っているのかといったところを少し説明していただければと思いますので、よろしく願いいたします。

○事務局 それでは、②の「我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について説明させていただきます。

まず、私の説明の前に、こちらの戦略につきましては平成27年度からまち・ひと・しごとの有識者会議をつくっておまして、そちらで毎年度効果検証を図っております。こちらの総合計画審議会の中でも、7名の方に有識者会議にお力添えをいただいております。今回はそこで委員長を務められています林副会長から、これまでの取組等をまず簡単にご説明いただきまして、その後、今後のまち・ひと・しごとをどうしていくかという形について、私から説明させていただきます。

それでは、まず、林先生お願いいたします。

○林副会長 ご指名をいただきましたので、私のほうから「我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」についての概要と、ある程度課題といったあたりを、少しお時間いただきながら説明をさせていただきます。

皆さんにご覧になっていただきたいのが、別冊として配られております「我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要と施策評価についてという、ちょっと厚めの冊子、別冊でいただいておりますけれども、これを見ながら「まち・ひと・しごと創生総合戦略」というものが、そもそもどういう内容でどんな特徴を持っているのか、先ほど計画のターゲットというお話がありましたけれども、どういったあたりを総合戦略の中では解決しようとしているのかと

ということについて、まずは最初にお話させていただければと思っております。

また、それを受けまして他の計画との関係ということで、特に現在作成しております第4次総合計画と、名前が似ているんですけども、我孫子市の総合戦略そもそもの関係性や位置づけといったものが、どういった関係にあるのかというあたりが、2点目のお話になろうかと思えます。

また、3点目で、これまでの有識者会議を開く中で、何となく感じられている課題というものが幾つかあるわけですけども、詳しくは事務局からご説明があるんですが、私なりにこれまでちょっと会議の中で感じた課題をごく簡単に説明させていただくということで、お時間を頂戴させていただければと思います。

まず、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の、そもそもなぜこれがつくられたのかという話ですけども、先ほどの資料の1ページ、1、総論のすぐ下に1-1の目的がございますので、こちらをご覧になっていただければと思います。

現在、話題になっております我孫子市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、平成26年11月にまち・ひと・しごと創生法という法律ができて、これを受けて非常に短期の間であるんですけども、何とか創生総合戦略を我孫子市としてまとめて、平成27年度からスタートしているという、昭和40年代の後半からスタートした総合戦略に比べますと、比較的新しい取組の計画ということになっております。

この総合戦略自体は、何を狙っているのかというと、先ほど目的のところの中の2行目にある、人口減少の克服と地域の活性化に取り組むということを目指している。一口に言ってしまうと人口減少の克服、地域の活性化というものをそもそも目指していくプランであるということなんですけれども、この特徴をさらっと言ってしまうと、なるほどということなんです、実はこの背景にはいろいろ人口減少あるいは地域の活性化といったところの、基本的な考え方を少し説明させていただいたほうが、このプランの特徴が分かるかと思ひまして、若干その点を触れさせていただきたいと思ひます。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」自体の基本的な認識というところで、まず1点目としては、そもそも大きい話になるんですけども、若者が集まる東京圏というのは出生率が非常に低い。全国の中でも最も低いというところに人口が集中する。しかも、それが地方からやってくるというような中で一極集中というところを、少子化の中でも考えなければいけない新たな課題だという認識がございます。

人口減少となると子供を産み育てるといふ、いわゆる結婚・妊娠・出産の問題という形、あ

るいは働き方の問題というところに焦点が当たりがちですが、そういった従来のいわゆる少子化対策ということに加えて、東京一極集中を是正する、人口の社会移動という側面からも、人口減少、少子化というものを捉え直せという、そもそもの発想がございました。

したがいまして、なかなか人口減少というふうに一口で言っても、東京一極集中というところも、実は人口減少の中には含まれている課題ということになります。また、人口減少の影響面というのを考えてみますと、地方自体の人口が減少していくということを契機に、人口減少そのものが地域経済にどのようなインパクトを与えるかということ、地域経済自体が縮小していく、また、地域経済が縮小していくということは、まちに仕事なくなる、働く場所なくなると、さらに大都市圏への人口集中が進んでしまう。こういう負のスパイラルを何とかせよということが、そもそもプランの発想として持っているということになります。

一口で言うと人口減少、地域活性化ということですが、そういった東京の一極集中、あるいは地域経済へのインパクトというものについても考えるプランになっていると言われております。

もう一つの特徴が、このタイトルになるわけです。「まち」と「ひと」と「しごと」ということが頭に出てくるわけですが、なぜ、「まち・ひと・しごと」なのかということも、この総合戦略を理解する上で押さえておきたいポイントになります。

総合戦略の位置づけというのが1-2のところにあります、真ん中のところに人口ビジョンと総合戦略という形であります。ここに「まち・ひと・しごと」を一体的に推進するという、非常に横断的な視点を持ったプランだということがもう一つの特徴になります。すなわち、「まち」と「ひと」と「しごと」という観点から一体的に政策を横断的に推進せよというのが、そもそもの戦略の発想ということになります。

少し分かりにくいですが、いろいろ国の計画などを見ると、仕事が人を呼んでくると、人が仕事を呼ぶという、うまく仕事と人というところに何かうまい巡回ができないか。そのことによって地域、まちを活性化していきたいという思いがあり、「まち・ひと・しごと」創生というくくりのほうになっているということになります。

具体的に仕事では、どんなものが含まれているかということ、若い世代が安心して働ける環境をつくりたい、あるいはやりがいのある仕事を地方において創出していくという観点の取組。人の観点からいきますと、地方へ新しい人の流れをつくるために、若者の地方での就労を促す取組ですとか、地方への移住・定住策を促進するような取組。さらには安心して結婚し出産、子育てできるように支援するということまで、射程に入っているということになります。さ



らに活性化すべきまちの観点から、今後とも地方で安心して暮らせるような地域課題を解決していくための取組といったところも、この戦略の中に盛り込まれているということになります。

話をまとめてみますと、非常に抽象的な言い方になりますけれども、そもそもの人口減少という原因に着目して、この原因を減らそうという意味での緩和策と言われているものもありますし、また、人口減少がある程度進行していくことは仕方がない、この悪影響をどう減少させるのかということで、適応策的なものも含まれている。それぞれを総合戦略に位置づけて、実施しているという格好になります。

こうした内容面に着目してみますと、非常に幅広いというところがありますし、また、もう一つの特色としましては、ローカル・アベノミクスという文脈でこの政策がスタートしたこともありまして、総合戦略に位置づけることにより、財政難の中、交付金が頂けるという仕組みもある中で、交付金の対象事業とするには、総合戦略にある程度位置づけなければいけないという課題もあり、幅広い取組が総合戦略にどうしても盛り込まれているような形になっているということが、特徴であると言えるかと思えます。

また、3点目の特徴としましては、総合計画とこのあたりがちょっと違うところになるんですけども、とにかく人口減少や地域経済の活性化という観点の政策を、総合的かつ着実に進めたいという思いがありまして、実は1ページにあります1-4のところの推進検証体制というものが設置される形になっています。

これは何かと申しますと、戦略自体にあります事業の進捗管理とか施策の評価を実施し、改善する仕組みをつくれという中で、具体的には2ページのところになるんですけども、推進体制として先ほどお話のありました、まち・ひと・しごとの有識者会議なる外部評価の機関という組織が設置されまして、毎年度、位置づけられた事業自体の、1行目にありますとおり事業の進捗管理や施策の評価を行いまして、適宜改善策なども提案していくことで、この評価の仕組みといったところがもう一つの特徴ということになります。

実態的なところを申しますと、毎年度、委員の皆さんはご存じと思うんですけども、この評価もいろいろやり方がある中で、1回やって終わりというパターンもあるんですけども、我孫子市というのは非常に真面目にやられておりまして、大体毎年この検証のために4回ほど集まるということがございます。大体4回から5回ぐらい毎年集まっているという感じで、何となくのイメージなんですけれども、毎日暑いですねと言って、評価が終わると、そろそろコートを着ないと寒いですねと言いだめる時期で終わるような感じで進んでいる形で、評価検証ということを実は重視しています。

また、もう一つの我孫子市の特色としては、単に委員が評価して終わりということではなく、結果自体も外部公表されるんですけども、外部公表する前に先立って1回、例えば星野市長さんですとか青木副市長さんと意見交換する機会があります。単に指標的な定量的な評価をして、こうですということではなく、様々な意見や出てきた疑問点あるいは評価結果というものを、市のトップの方と意見交換する形の取組もこれまでできております。

また、昨年度は新しい取組といたしまして、担当課とも意見交換をしてみようということで、トップではなく実際によく話題になる事業の担当課に来ていただいて、現状の取組と我々委員の認識のすり合わせなどということも行いました。

評価結果自体は3ページのところに載っている形になっていますけれども、大体全62本の事業、KPIというものがあって、62件の評価をする中で半分ぐらいは達成しているけれども、半分ぐらいは遅延だろうというところが昨年度の状況ということになります。

もう少しだけお話をさせていただくと、それで総合計画、総合戦略の2本が走っている中で何が課題になっているかということ、やはり地方創生という課題からすると、まずは国のプラン、国の総合戦略というのがありますし、県でも総合戦略を作っております。中長期的な、どうしても日本全体の話というところも視野に入れつつ、政策をしなければいけない観点があるので、国や千葉県の人口ビジョンとか総合戦略を、ある程度勘案しながら政策をしなければいけない。

また、人口ビジョンというものを作って、ある程度長期的なスパンの中で市の人口の現状とか、将来の課題というものを人口ビジョンとして策定し、それに基づいて「まち・ひと・しごと」という横断的な取組をこれに盛り込むという形でプランを作っております。

こういった内容面において非常に広範になっており、総合計画に似ている部分があるということの中で、先ほど来から問題提起がありますところの最上位計画である総合計画と、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」というものを内容的にある程度すり合わせをし、整合性を取り、より効果的に政策をどうやったら実施ができるのかということが従来から課題になっており、今日の第4次総合計画との連動、連携ということも一つの課題になっております。

また、内容面でもこういった意識をするということで、実は現在走っているプラン自体は平成27年から31年の5か年計画だったんですけども、第4次総合計画の策定が目前に迫っているということで、31年度までのプランを2か年度延長しまして令和3年度までとし、第4次総合計画と走り出しを同じにしようという、スキームでやっているんですけども、内容面と計画それぞれの連携、連動といったあたりがちよっと課題になっております。

また、評価ということをお話させていただきますと、今日も総合計画の中でいろいろ指標の

問題というのが出てくるかと思うんですけども、我々有識者会議の中でやはり意見になるのが、指標に基づいて施策の達成状況を評価せよということなんですけれども、実はこの指標が大問題になっていることが結構あります。いろいろ細かく施策や事業の実施状況を聞くと、かなり頑張っている、あるいは話としては前向きな方向に進んでいるんですけども、指標自体の設定というのがなかなか難しく、そういった市の頑張りとか、あるいは人口減少の克服に結構寄与しているように見えるんですけども、指標上なかなかそれが表しにくいということで、指標自体をどう取り上げるのか、どう設定するのかということも課題になっておりますし、また、短期間で策定した影響もあり、目標値と現状値を比較する目標の達成度評価という形でやっていますが、そもそもの目標値の水準がこれでよかったのかということも、結構計画策定にも携わったんですが、有識者会議の中で出てきています。

したがって、総合戦略をつくる上での参考ということなんですけれども、指標というのも本当に事業自体の成果というか、どこを測るか実は難しいんですけども、一般的な事務事業的なものこのうことができたという、活動の部分を表す指標もありますし、それが何を生み出したかという成果を見る指標もあるんですけども、理想は成果の指標になるわけなんですけれども、しかしながら施策全体の成果というものを表す指標を、どういうふうに設定したらいいのかということも、実は有識者会議の中で意見がありまして、こんなに頑張っているのに指標上から見ると、どうもそれがうまく捉えられないという問題点がありますので、皆様も総合計画の中で指標という問題も将来成果を把握するというものですが、何かいろいろな観点から見ていただき、ご意見をいただけるとよろしいかと思っております。我々もそういった観点で有識者会議を進めております。

いずれにしても、有識者会議において今後、次期の総合戦略をつくらなければいけない、見直していかなければいけないという中で十分総合計画ともリンクしながら、役割分担も意識しつつリンクしながら、現行計画などをベースに今後考えていければというふうに思っております。

少し長くなりましたけれども、私からの特徴と現状というところをお話させていただきました。

○事務局 林先生、ありがとうございました。

では、私のほうから今後、第2期の「我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」をどのように第4次総合計画と一体化して見せていくかということにつきまして、お手元の資料、資料3、「我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進を基に説明させていただきます。

まず、最初のページの項目2番、市総合戦略と総合計画の関係、こちらにつきまして、今、林先生からご説明いただいたとおり、第4次総合計画の前期基本計画と一体的に策定するという形で検討をしております。

また、3番、市総合戦略の基本的事項、こちらに書いてあります計画期間は、基本計画に合わせ令和4年度から9年度、6年間の戦略の計画としております。

そして、その下、数値目標とKPI、4つの基本目標の実現に向け、それぞれの基本目標について数値目標を設定します。また、基本目標を具現化するための取組の成果を測る指標をKPIとして設定します。こちらにつきましては、今の戦略と同じ構成をそのまま引き継いでいくことを予定しております。

具体的には、3ページ目をご覧ください。

こちらの総合戦略も総合計画と同じように、まず大きな枠組みとして基本目標を設けております。4つの基本目標を掲げておりまして、3ページ目には基本目標1、あびこを支える産業を応援し、いつでも働けるまちづくりということで、産業振興の施策を主にぶら下げるという形で、現在の戦略と今度の戦略も同じような位置づけをしていきたいと考えております。

続きまして、5ページ目が基本目標2、あびこの魅力があふれ、にぎわいを生むまちづくり、こちらは主に観光振興の分野ですね、こちらの施策をぶら下げております。

続きまして7ページ目です。

基本目標3、あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり、こちらにつきましては子育てと学校教育、こちらの分野を入れております。

続きまして9ページ目、基本目標4、あびこにずっと安心して住み続けられるまちづくり、こちらにつきましては健康づくりであったり、生活環境、また、地域コミュニティの向上等の施策を入れております。今度の戦略にも同じ基本目標という形でつくっていききたいと考えております。

KPIの見せ方なのですが、左側の8ページをご覧ください。

こちらは基本目標3に対してのKPIの表になります。今、何も入っていない状況なんですけれども、こちらで現在の戦略では62KPIありますが、こちらを今度新しいKPIということで設定する予定です。こちらにつきましては、総合計画の中で指標を幾つか設定する予定ですので、その数ある指標の中からどれが地方創生の取組、KPIとして適しているかというものピックアップして、ここに一覧表として見せていく予定です。こういった形で今後は総合計画と一体化した戦略ということで、見せていこうと考えております。

最後に11ページ目をご覧ください。

11ページ目には、その戦略と計画はどういう関係があるのかというのが一覧で分かるように、それぞれの総合計画の基本目標に対して、総合戦略の基本目標のどれがリンクしているのかというのを、丸をつけて落とし込みことによって、関係性が分かるような見せ方をしようと考えております。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」についての説明は以上となります。

○藤井会長 皆さん今ご説明いただきました。ご理解いただけましたでしょうかということ、非常に難しいですよ。先ほどの別冊といった側面の中で1-3というところ、1ページ目ですね、ここで計画期間といったキーワードで令和4年からということで、今、私たちが進めている総合計画といったところの、第4次の総合計画を具体的に動かしますよという前期基本計画、これを策定しているんですが、その中で「まち・ひと・しごと」といったものを組み込んでいきましょうという考え方なんですが、組み込むといっても、その表現が別冊では一本化というキーワードになっているんです。

それから、後段でご説明いただいた推進のほうでは、これ一体化という言葉になるんです。総合計画の前期基本計画の中で一本化というと、一つの政策として形になってしまうのかと。一体化となるとそれぞれ別のものがあつたものが組み合わさって、一つの方向性で向き合うのかといったように、この辺の意識の仕方をどう踏み込めばいいのかなと。総合計画として、範疇としてこれから進めなくちゃいけないところに、働く、あるいはまち・ひと・しごとという、そういったキーワードのところで上がってきたものをそのまま組み込んでいくのか。あるいは総合計画の前期、昨年度つくった基本構想を具現化するための計画手法として基本計画をつくっていく中で、マッチングしたものを取捨選択していくのかとか、それによって一体化の考え方とか、一本化の考え方というのは違ってくると思います。

その辺のところをどう位置づけていくのかというのが、なかなか分かりにくいということもあつて、今日ちょっと皆様方にかなり勉強的なところで最初に、事前をお願いさせていただいたんですが、その辺の感覚というのはいかがでございましょう。

まずは事務局のほうで一体化と一本化といったところで、計画のつくり込みの対応を、この辺をどうお考えになっているかを、もう一つちょっとご説明いただいたほうがいいかなと思います。

○事務局 最後のほうに説明しましたKPIという設定につきましては、総合計画でもこれから設定をするんですが、その指標の中から地方創生に、取組に指標となり得るものをピックアップ

ップするということになりますので、そういう形になりますと一本化という形の表現のほうが、イメージしやすいと考えております。

○藤井会長 そうしますと皆さんたちと具体的に総合計画の基本計画をつくる中で、具体的な指標といったものを皆さんたちにご議論いただいて、こういった形のもので成り立つよねと、それに見合う具体的な評価指標といったものを提示して、それをどういう数値で算出できそうなのか、そして我孫子にとって今よりもプラスにする、あるいは社会的にこれぐらいは水準として持っていてほしいと思うレベル、こういったようなものを総合計画の、この場でご審議していただいたもののリストの中から今度総合戦略という、「まち・ひと・しごと」という今までやられたものの中で、特にまちづくりと、先ほど冒頭でお話のあった人の流出、こういったものを抑制するとか、地域活性化に寄与するとか、そういったところの関連するものを総合戦略部門という形で位置づけて検討していくという流れの理解でよろしいということですかね。

よろしいですか。その辺の整理をしておかないと、きっとどっちの場で何をやっているのかと、総合戦略の「まち・ひと・しごと」を今度つくるといったところで全部できてきて、じゃ、こっちはそれを確認すればいいだけかなと思っていると、どうもそうでもなさそうだよねという違和感が出てきてしまうといけないので、こういうお話をさせていただきました。

先ほどちょっとお手が挙がっていました。宮川さん。どうぞ。

○宮川委員 宮川です。

先ほどは林先生の大学の講義を聞いているように、滑らかなお話があって感動しました。昨年でしたかね、かなり厚い資料をいただいて、それを読ませていただいたときに、こんなのできていたのかなと、私ちょっとびっくりしたんですけども、私は基本的に行政計画、構想と基本計画、ここには選択という背景はいろいろ国の方向性もあったりして、それぞれの自治体でつくらなきゃいけないということもあったんでしょうけれども、その辺がなかなか読んでみても整理し切れないという感じは受けたんです。

簡単に言えば行政がこういうことをやったり、ああいうことをやったりとか、市長なり行政の職員が思い勝手に仕事をやると、混乱しちゃうと、それでは困ると、方向性を明確にして仕事をやってもらいたいと、簡単に言えばそういうものが構想であり計画であり戦略であると思うんです。そこにいろいろ細かい結びつきが出てきていると、これを読んでいくと思うんです。

その辺のご説明だったと思うんですけども、私はこれから委員の皆さんが簡単に意見を述べるような要素、そういうものがもっとあっていいのかなと、運営上、そこまではあまり踏み込まなくていいのかもしれないけれども、簡単に言えば我々が市民として日常生活の中で計画

はこうであっても、何かこの辺は実際不足しているんじゃないかと、あるいはもっと重視してもらったほうがいいんじゃないかと、そんな感覚で物を言えたらいいのかなと私は感じているんです。

ただ、ご説明は非常に高度なお話で、私もなかなか消化できなかつたんですけども、本当に完璧なお話のように受け止めました。ありがとうございました。

○藤井会長 ありがとうございます。

やはりこの分野は非常にいろんな計画が本当に出てきているので、何を今皆様方とご議論しているかという、だんだん分かりにくくなっているときもあるんです。構想の基本的な年数と、それから計画の基本的な年数と、さらに今度は具体的な施策というんですか、行政側は、施策に結びついたものになるともっと短期になってきます。どうしても短期に目がいってしまうと、今度全体像がまた分かりにくくなると、その辺のバランスが非常に難しい。そういったところをこの後の分科会といったところに分かれたところで、こういう二十数人集まったところでの議論ということではなくて、1つずつのテーマに基づいて自由に話をして、その中で最終的にまた皆さんで共有していこうという場をこれからもどんどんつくります。それを広くするために、ある意味回数を増やしてしまったということもございますので、ぜひそういった面では全体像でもしもご発言なかったとしても、そういう分科会の中でもいろいろご発言いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

そのほかいかがでございましょう。

上村委員、どうぞ。

○上村委員 説明ありがとうございました。

説明を聞けば聞くほど、逆に不思議になってしまったんですけども、「まち・ひと・しごと総合戦略」と基本構想、基本計画。今回、基本計画をつくるんですけども、並列で走っていくのか上下なのか、あるいは全く別々なのかというのが、聞けば聞くほど分からなくなってしまったんですけども、その辺どうなんでしょうか。

○藤井会長 では事務局お願いします。

○事務局 基本的には、こちら総合戦略と総合計画というのは、お互い整合を図って進捗していくものになります。確かにすごい分かりづらい位置づけになってはいるんですが、総合戦略も基本的には地域の活性化、人口減少を防ぐ等、ふだんは自治体がテーマとしてやっていることになりますので、基本的には総合計画で位置づけるテーマとベクトルは一緒になるわけです。

ただ、今の国のほうでの地方創生というテーマで大きな事業を行ったり、いろいろ推進して

おりますので、我孫子市もこちらのテーマをきちんと認識した上で、庁内でもきちんと事業を推進していきましょうということで、こちらは特出しという形で総合戦略というものを別冊でつくっているという経緯があります。こちらにつきましては、内容というのはいちちゃんと総合計画と総合戦略でお互い整合性を取って、一緒の期間で進めていくという形で予定しております。

○藤井会長 基本構想と言われている、総合計画の基本構想の意図をちゃんと両方が認識した上で、具体的なKPIといったような数値目標でPDCAを回しながらというアプローチのほうと、それから具体的な市の、どうしても「まち・ひと・しごと」では範疇として入らない領域が総合計画のところにも出てまいりますので、そういったところをカバーするという面では、総合計画の基本計画づくりのほうが枠組みとしては大きい。そういった位置づけになっていると。かなり結びといいますか交わりの部分が非常に大きいので、そこで混乱をするので、既にもう混乱をさせているかもしれませんが、少しずつ進めながらこちらは戦略のところを展開するもの、でも計画できちんとこれは位置づけておかなきゃいけないねとか、そういった議論をこの中で進めていければいいかなと思っています。

そのほかよろしゅうございますか。はい。

それでは、続きまして③の「SDGs」につきましてご説明をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○事務局 それでは、資料4をご覧ください。

今回、総合計画の中でSDGsの達成に向けた取組の推進についても一緒に示していくということで、内容についてこちらに案を記載しております。皆さん「SDGs」については最近よく耳にされているかなとは思いますが、なかなか詳しい内容、特に国連で採択した内容と、あと日本が取り組んでいく内容というのは違うところもあるのかなというところで、その辺について少し我々も含めて、知識を深めていく必要があるというふうにも考えております。

したがって、少し別途、平日になると思いますが、オンラインで勉強会のようなものを開催させていただけたらと思っています。それを踏まえまして、「SDGs」について記載をしていきたいと考えております。

まず、資料4の1、「SDGs」の概要ということで、ここでは「SDGs」がどういったものか簡単に記載をしております。「SDGs」は17の目標と、あとさらにそれを細分化したような169のターゲット、また、232の指標から成り立っているということで、ここでは「SDGs」の目指す17のゴールについて、簡単にマークといいますかを示しながら、説明したものを掲載したいと考えております。



続いて、次のページです。

総合計画との関係ということで、「SDGs」は Sustainable Development Goals ということで、日本語に訳すと持続可能な開発目標とされていますけれども、本市の将来都市像「未来につなぐ心やすらぐ水辺のまち」というところと関係していき、将来につないでいくということでは目指すところは同じなのかなというところで、「SDGs」に関係する部分も多いということで、その目標達成に向けて市で取り組む施策についても、「SDGs」の視点を取り組みたいというふうに考えておりますので、その施策がどこの「SDGs」の目標につながっているのかということを表で示したいというふうに考えています。こちらにつきましては、今後基本施策の内容を確認していく中で、また、先ほど申し上げました勉強会をやっていく中で、どの目標がどの施策に関連していくかということを確認しながら、皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

「SDGs」の説明については以上となります。

○藤井会長 今、「SDGs」を具体的な基本施策と結びつけていくかというのに併せて、少し事務局自体も勉強するといった意味で、ウェブを活用した勉強会を企画していきたいと。こちらは皆さん方の参加は自由という形になるかと思いますが、そういう形の中で基本施策、基本目標を位置づけたいということがございます。

何かご質問、ご意見等ございましたら承りたいと思っておりますが、いかがでございましょう。

特によろしゅうございますか。

はい、どうぞ。

○湯下委員 湯下でございます。

確認をさせていただきます。基本計画の中に施策単位やら計画単位で、このゴールの達成度とか目標を持つために、計画の中にこういったものを張りつけていくようなことって考えているんですか。

それが一つと、もう一つは今この達成度をいうと、国連の中で日本は17位ぐらいの位置づけというふうに言われていますけれども、17のゴールがあるうちの日本でいうと3つぐらいですか、今、達成されている部分。それはどこになるのかを併せて教えていただければありがたいと思っております。

○事務局 まず、施策の中でということですが、基本施策の中でも示した表とは逆の示し方になるかとは思いますが、基本施策の中でどこのゴールに当てはまるかということ、マークをつけて示していきたいと考えております。

また、指標につきましては、「SDGs」のゴールの達成への指標というような示し方ではなく、あくまでも市の施策の指標を進めていく中で、「SDGs」のゴールを意識した視点を持ちながら進めていくと、より効果的に進められるだろうという考えで、施策の指標として示したいと考えております。なので、それを達成する中で「SDGs」の達成というよりも、それに近づいていっているものというような考え方になると思います。

2点目につきましては、すみません、こちらで把握できておりませんので、調べてまたメール等でお知らせしたいと思います。

○藤井会長 「SDGs」自体国連でということで、世界的にという形でいろんなものが含まれている中で、もともとベーシックなところは開発途上国、こういったところの環境を改善していくといった下地から、全世界共通の認識でアプローチしましょうという形で変わってきた。そういった中では当然達成できているものもあれば、達成できていないものもあると思います。また、さらに国単位で議論する話と自治体で話をするところでは、当然またレベルが変わってきます。我孫子市にとって本当にこの17の目標全てを全部組み込んで、それに向き合う必要があるかというところではない。

そういった中で我孫子市にとって持続的に開発目標といったものを立てるに当たって、どこに注力をしたらいいかというのを総合計画の中で枠組みとして考える。これが大事なことだと思います。その中で今どちらに向き合うかといった位置づけをここに張りつけるという。だからそのときにその他の自治体さんでは、そういうパターンでやっているところが私も関わってところは多いです。ただし少しずつ動きとしてKPIとリンクした形で、それぞれの施策にそれが17の目標のどれとリンクしているかをひもづけすると、そういった自治体も出始めています。必要条件と十分条件とが入り交じってきますので、それを達成すれば本当に目標が達成できるかという話と、その目標を達成するためには、確かにそれも一つの指標といった見方の違いがやっぱり当然出てくるので、それだけやれば達成できるものではないという認識のところから、逆にそれを控えている自治体もあります。

ですので、これから我孫子市がどう選択するかといったときに、今はここに張りつけ型の考えという説明でしたけれども、皆さんたちのご意見の中でこの分野はもう少し具体的に目標が重要な我孫子市にとっての指標になるから、それをさらにもうちょっと強めに表現したほうがいいのかというのが出てきても、おかしくはないかなという気はいたしております。その辺は全体のバランスで見て、議論をしないといけないかなと思います。

そのほかいかががございましょう。

はい、山内委員、どうぞ。

○山内委員 すみません。「SDGs」は目標を決めて、これで達成ですというものではないと思うので、あくまでも継続だと思うんです。それと、今、会長がおっしゃったように全部の項目をやる必要もないし、もちろん市民の方が自分でやらなきゃいけないこともあると思うんです。ですから私は次回以降の中に、今、市として、市側としてどれだけこういうことをやっていて30%達成しているのか、いやいやもっと継続していかなきゃいけないというのがあつての話だと思うんです。私たちは全ての項目に対して、どこまでどういうふうに行っているというのは分からないわけですから、その中で指標を、目標を立てろといっても漠然としたイメージしかないですよ。どこの市が15%だから、じゃ、我孫子市は16%にしようという問題ではないと思うんです。ですから次回以降に、例えば子育てなんかはどこのところよりも自信を持って言えるはずなんです。それが市として50%なのか、いやいや10%なのか、これ全然違います。私はそういうのがあつて議論をしていけると思うので、今後、分科会の中でそれはもんでいく内容だと思うんですけれども、より具体的な数字があつて議論したほうがいいのかと思います。

以上です。

○藤井会長 ありがとうございます。

市の担当者自体も具体的な施策を検討していく上で、我孫子市の今レベルがどうなのか、どうすべきなのかという、やっぱりみんな相当悩んでいると思うんです。そういった中ではウェブで皆さんたちと意見交換しながら、市の職員も勉強していきたいという側面がありますから、次回以降すぐにそれが出てくるかというのは分かりませんが、ぜひこの計画づくりの中に方向性が少しずつ見えてくるような、そういったアプローチをぜひ進めていきたいと思います。

そのほかいかががございましょう。

よろしゅうございますか。

それでは、「SDGs」に関して他の自治体ではバリアフリー基本構想とか、個別の事業についても全部ひもづけて「SDGs」が入ってくるような、そういった自治体さんも今あります。基本は総合計画で将来10年20年、そういった方向性に向き合った形といったものがあるんですが、いろんな分野の中で個別計画とくつつくのものもありますので、ぜひまた自分自身の周り、あるいは関係する部署の中でこれは進んでいるということがあれば、ぜひ事務局のほうにご提言いただけるとありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、続きまして4の基本施策については、これから皆さんたちに分科会という形で

ループに分かれていただいて、具体的な推進する項目についてご議論いただく場をつくりたいと思います。それに向けてという形で、まずは別紙になっております基本計画策定の進め方、これをベースにして事務局よりご説明いただければと思います。よろしく願いいたします。

○事務局 それでは、基本計画策定の進め方について、別紙の資料に沿って説明をさせていただきます。

これから皆様にご審議いただく基本施策については、庁内のワーキングチームと策定委員会で、一定のルールにのっとって作業を進めてきましたという基本的な方針になるんですけども、そちらを説明させていただきます。

これから基本計画に記載していく、それぞれの基本施策ごとの現状と課題、それから現状と課題に対する主な取組について、これから申し上げるような方針に沿って文章を作成してまいりました。

まず、①の現状と課題についてなんですけれども、こちらは読みやすく簡潔にするために、今の段階においては現在取り組んでいる内容やこれまで取り組んできた内容については記載しないものとしております。また、基本的には現状で1文、課題で1文、それぞれ句点、丸で区切っておまして、課題の文末については3つのパターン、「必要があります」、「何々することが求められています」、「何々が課題となっています」この3パターンのいずれかとしております。

また、現状と課題につきましては、複数の事務事業を含む内容となってもよいこととしますと記載がありますが、こちらの事務事業につきましては、お配りしております資料9、A4の2か所ホチキス止めの冊子にまとめた、今検討中の新しい事務事業案の一覧になります。ホチキス止めの資料なんですけれども、こちら左方に説明があるんですが、丸で、太字で書いてあるものが新しい事務事業名になります。ですので、この新しい事務事業名に沿ってこちらの現状と課題、取組も作成させていただいております。

次に、主な取組については、先ほどお話しました新しい事務事業案、こちらに記載している事務事業について全て記載することとしておまして、1つの事務事業に対して1つ以上の取組内容を記載しております。ただし、このうち計画の策定、推進進行管理、また、施設管理についての取組については除いております。

また、どのような事業を行っていくのか、市民の方に分かりやすくなるような記載を心がけております。それと、文章の中で「関係機関と連携して」といったフレーズがよく登場するんですけども、そういった場合は基本的には全て記載するようにしております。ただ数が多い

場合ですとか、変動がある場合がありますので、その場合には幾つかの例示でも可としております。

基本計画策定の進め方については以上になります。

○藤井会長 それでは、今ご説明がありましたとおり、これから2つのグループに分けて今日は第1回目ということですので、こんな形で次回以降も展開するよという感覚をつかんでいただく。それから各分野の中でそれぞれが意見を取りまとめていただくということで、これから10分間ほど休憩をさせていただいて、テーブルの配置替えをさせていただきます。55分からスタートということで進めていきたいと思っておりますので、ひとつよろしく願いいたします。

#### (分科会概要)

二つの分科会形式に配置換えを行い、第1グループでは、防災・減災対策の推進、浸水対策の推進について、第2グループでは、地域福祉の推進、健康づくりの推進について、審議を開始する予定であったが、事務局より資料の説明を行ったところ、両グループの各委員から、「現状と課題」、「主な取組」について、どのような観点で議論をすべきなのか、総合計画審議会にはどのような作業を求めているのか、また事業ごとの資料等、それぞれがわかりづらいとの指摘を受けたため、事務局において、一時中断させていただき、会長・副会長と協議を行い、事務局において資料を修正し、改めて次回からの審議をお願いしたい旨、了承をいただいた。

○藤井会長 皆さん、フリーディスカッションの時間になってしまい、申し訳ございませんでした。ただいま、二つの分科会で議論をということで、仕切りを設けて議論を始めたわけですが、パーティーションで分けたにもかかわらず、議論している内容は一緒でした。やはり今回の資料で何を議論すべきか不明確であったこと、審議会に何を求めているのか、それに対する資料づくりも含めてですけれども、すごくわかりづらかったこと、結果的には、このようなことを整理して、仕切り直しをしたいということでもあります。といいますのは、どの自治体でもいつも悩むところなんですけれども、基本構想という全体構想があって、それを少し具体的な計画として、事業が見える化するような方向性をポイントとして示していく、これが基本計画、その基本計画を進めるにあたっては、具体的に何を取っていくのかということが見えてないと、これが本当に正しい計画かどうか判断できないという視点もありますし、あるいは他の場合では、いま現存する事業を優先してやっているのであれば、それを取り込んだ形でないと、中期の基本的な計画だって作れないでしょうといったアプローチの仕方もある、上から落としてい

く計画と下から上げていくというトップダウン型とボトムアップ型の両方の計画の作り方があ  
るんですが、それが今まさにここの中で混乱しているんだと思います。そういった面では、今  
回の資料でも基本計画として残る文言はいったいどこなんだろうという位置づけもよくわから  
ないですね。その文言が本当に私たちの次のプロセスの我孫子市の具体的な計画の中身をき  
ちんと含んでいる内容になっているのか、こういったところを皆さんにご議論いただかなけれ  
ばいけなかったのですが、具体的な施策メニューと課題の擦り付けが対になっているのかどう  
かその辺のところも整合性が取れていないということがありましたので、少し資料の作り方を  
変えてみようということで基本的には同じベースの形では行くんですが、資料9といったとこ  
ろをベースにして、施策体系と実施計画この辺がないと逆に基本計画作りがどのように行われ  
ているのかよくわからない、判断がしづらいということもありますので、これは残させていた  
できます。その代わりこの基本計画のなかに盛り込むべき範疇は何かといったところをしっか  
りと明示させていただくような、それはどういう意図をもってどういう課題とリンクした形で  
この項目を作りあげていったということを書き記していくという形を取らせていただいて、皆  
さま方にその文言で全体計画の中できちんとそれを反映できている内容になっているかどうか、  
どうしても具体的な言葉を一つひとつ基本計画に入れていくわけにはいきませんので、ある意  
味ベクトルがずれていないかどうかといった文言を確認していただくようなプロセスを次の段  
階で採りたいというふうに思っています。

事務局、すぐ来週に向けてというところでありますけれども、今日ご議論いただいた資料を  
次回までに修正させていただいたもので議論展開させていただいて、こういう形であれば次の  
議論は旨いくのでしょうかという皆さんに対する方向性としてこういう資料がよさそうだと  
いうものをしっかり確認したうえで、全体で進めていければと思います。そういった面ではやり  
方も含めて試行錯誤的のところは出てまいります、今後、この我孫子の計画の中に何を盛り  
込んでいくかということで進めていきたいと思っておりますので、今日は結論が出ないなかで終わ  
りにせざるを得ないということでございます。改めまして事務局はその辺のところをしっかり整  
理していただいて、次回以降の資料作成に臨んでもらえればと思います。

今回、議論が進まなかったというお詫びを兼ねて私の方から説明をさせていただきました。

今後のスケジュールに関しましては、事務局より説明をお願いします。

○事務局 準備不足で申しわけございませんでした。スケジュールにつきましては次回開催以  
降、改めて調整させていただきたいと思っております。なお、次回は来週の開催を予定しております。

本日議論が進まなかったこともございますので、何とか次週開催できる方向で努力をさせていただきます。資料等整いましたら、メール等でご連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(閉会)

○藤井会長 今年度第1回目の会議としては、厳しいスタートかもしれませんが、結果を出す会議にしたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、本日の審議会を終わりにさせていただきます。どうもありがとうございました。